

特集

湖水ヶ池をさぐる

六反田・野中地区の鎮守である水沼神社は、湖水ヶ池のほとりにあります。歴史書には雨乞いに関する記述が多数あり、これは当社の祭神が日本を代表する水神であるからだけでなく、湖水ヶ池そのものが、信仰の上で大きな役割を果たしていたからだと考えられています。

そんな信仰の対象にもなった湖水ヶ池。今では町民の散歩コースや憩いの場として利用され、また、特産・糸引きレンコンの生産地として知られています。

湖水ヶ池の伝説

湖水ヶ池の伝説として、こんなお話があります。

昔この地に太郎兵衛という男が住んでいた。男には一人の美しい娘がいたが、ある日、この娘が池で失踪してしまった。太郎兵衛は大いに悲しみ、池のほとりで娘の名を何度も呼び続けた。

すると、池の中から娘が現れ、またすぐに水中に消えてしまった。太郎兵衛がもう一度娘の名を呼ぶと、娘は、今度は大蛇の姿となって水上

に浮かびあがった。それを見た太郎兵衛は、「今日からは子を見ず」と嘆いた。

池は、太郎兵衛の「子を見ず」という言葉が「こみず」となり、「こみずが池」と呼ばれるようになったと言われている。

また、この伝説に登場する大蛇こそ水沼神社の水神であると考えられ、このことが人々に浸透し語り継がれることで、当時の湖水ヶ池信仰がより深まったのかもしれない。

手作り絵本「こみずが池」



町内の手づくり絵本サークル「そらつくどん」によって、平成23年に作成された湖水ヶ池伝説の絵本です。新富町図書館で読むことができます。

不思議なレンコン

湖水ヶ池のレンコン栽培は、高鍋藩第7代藩主・秋月種茂公が冬場に困窮する農民を救う為に植えたのが始まりと言われています。



とても長いレンコン

細身で粘りのある糸引きレンコンは、煮物にするとまるでイモのようにホクホクした食感になるのが特徴です。



上はレンコンの煮物。下はゴリゴリ汁



このレンコンを増やそうと別の池に植えたところ、同じような糸引きレンコンにはならなかったという不思議な話もあります。

一般には流通せず、時期になると町内の物産直売所等でしか入手できません。希少なレンコンを、ぜひ味わってみてください。

イベント

毎年、湖水ヶ池の花が咲く時期には1日限定の祭りが行われていましたが、今年は7月22日から8月14日の間に「サマーグリーンイベント in 湖水ヶ池」と題し、期間イベントを開催しております。お時間ありましたら、ぜひ立ち寄りください。

※詳しくは、観光協会へ。
☎0983・33・6029

Green TAI CHI (森の太極拳)

初心者も大歓迎！
8/11 ¥300
10:00~11:30

Green WALK (森ウォーキング)

早朝ノルディックウォーキング
8/7 7:00~9:00 ¥300

Green MUSEUM (森の美術館)

湖水ヶ池を彩る絵画展示
7/22~8/12
9:00~16:00

Green YOGA (森ヨガ)

森の中で心と体を開放！
7/31、8/14
10:00~11:30 ¥500

湖水ヶ池のまわり

湖水ヶ池の周囲は約1kmあり、特に東側は、木々に囲まれた涼しい遊歩道になっています。夕方や休日になると、犬の散歩やウォーキングをする方々がいて、すれ違いざまにやさつを交わす、そんなのどかな光景に心癒されます。



東側の遊歩道。ベンチや東屋が設置され、休憩できます。

東側から見ると、また違う風景を見ることができます。



また、湖水ヶ池は生き物の宝庫。特に夏になると、チョウトンボやイトトンボ、ヤンマなどの昆虫やスッポンなどの水の生き物に会うことができます。



上は水沼神社の社殿。下は西側の公園で、きれいなトイレもあります。



■「さるく」とは：宮崎弁で「歩く」「出歩く」という意味。目的もなく移動するようなニュアンスも含まれています。